

第 14 回日本語教育研究集会

日時 2016 年 8 月 9 日 (火)

場所 名古屋大学全学教育棟 4 階 406 号室 (控え室: 405 号室)

● プログラム

受付開始: 9:30~

研究発表: 10:00~10:30

杉村 泰 (名古屋大学)

二者会話場面における指示詞 (コソア) の選択

10:30~11:00

疏 蒲劍 (名古屋大学大学院生)

副詞「非常に」、「ほとんど」、「完全に」の修飾能力

11:00~11:30

張 季媛 (東京外国語大学大学院生)

接続助詞を用いた中途終了型発話文の待遇的談話機能

—理由を表さない「カラ」を中心に—

11:30~12:00

李 夢迪 (名古屋大学大学院生)

接尾辞「-性」「-化」「-的」について

—前接する語基の特徴をめぐって—

(司会 許 夏玲: 東京学芸大学)

(昼食)

13:00~13:30

鈴木智美 (東京外国語大学)

「のだ」の拡張的使用

—自己防衛の柔らかな言語表現化「のかなと思います」—

13:30~14:00

馮 晶 (東京学芸大学大学院生)

中国人日本語学習者の「言いさし文」に対する認識状況から見る日本

語教科書との関連 —「レバ」「タラ」を中心に—

14:00~14:30

曾 勇 (名古屋大学大学院生)

受身構文の日中対照研究 —主語と行為者の有生性について—

14:30~15:00

権 裕羅 (名古屋大学大学院生)

感情形容詞の使役表現

(司会 木下りか: 武庫川女子大学)

(休憩)

15:15~15:45

木下りか (武庫川女子大学)

視点の共有化による共感の形成

—「かもしれない」の新たな用法をめぐって—

15:45~16:15

呂 鵬 (東京学芸大学大学院生)

日本語と中国語の「断り」表現から見るポライトネス・ストラテジー

の使用実態

16:15~16:45

董 尚 (名古屋大学大学院生)

漢語自他両用動詞の使役の研究

16:45~17:15

南 明世 (名古屋大学大学院生)

方向を表す複合動詞の日中対照研究

—「V1-さげる」「V1-さがる」を中心に—

(司会 鈴木智美: 東京外国語大学)